

人類の自主性を目指す闘争に積み上げた金日成主席の業績

スペイン・バスク・チュチェ思想研究会会長
トレバー・アリッツ・ウビロス・ヒルゾーン

意義深い年であるチュチェ 111 (2022) 年、われわれは朝鮮民主主義人民共和国の永遠なる主席である金日成主席の生誕 110 周年を慶祝しています。

幼年時代から両親の革命的影響を受けながら成長した金日成主席は、自主偉業に自身の一生を捧げました。

革命活動の初期、金日成主席は、分派分子と事大主義者と対抗しなければなりませんでした。

金日成主席は、朝鮮人民の民族のおよび階級的解放を当面の目標とし、世界のすべての人民の民族のおよび階級的解放を最終目的とする自主的な革命組織を結成しました。

金日成主席は、広範な大衆を結集させて祖国解放の大業を成就しました。

朝鮮人民が日本の統治から独立を成し遂げ、人民の新しい朝鮮を建設していた時期、アメリカ帝国主義を筆頭とする帝国主義勢力は、戦争を挑発して朝鮮を占領しようとしていました。

金日成主席の指導のもとに、朝鮮人民は祖国解放戦争で勝利を収めることによって、米国に反対する戦争で勝利し初の人民として歴史に記録されました。

帝国主義者の戦争によって破壊された国を復旧する過程で、朝鮮の勤労者は自立的民族経済の強固な土台を築き、自主性を真に保証する社会主義制度を樹立しました。

当時、国際共産主義運動内で突然の変化が起こっていた時期に、金日成主席を首班とする朝鮮労働党は、自主の旗印のもとに、他の社会主義諸国と伝統的で友好的かつ同志的な関係を維持することを決心しました。

一方、金日成主席は、各種の設備、科学者、技術者、武器、果ては軍人まで送って、民族的独立と社会主義革命のためにたたかう数多くの国と人民を支援しました。

朝鮮の国際主義的支援に励まされて、多くの国の人民が民族の独立を成し遂げ、新しい社会を建設するための闘争に立ち上がりました。

1980 年代末と 1990 年代初め、一部の社会主義国が次々と崩壊した現実、人類の解放を成し遂げるうえで自主性が必須であるということを証明しま

した。

朝鮮は、自主の旗印を高く掲げて、歴史のあらゆる挑戦と試練に成功裏に打ち勝ち、今日は政治、経済、軍事の各分野において自主的な社会主義強国を建設しています。

今日、朝鮮人民と世界の進歩的人民は、人類が進むべき前途を明示し、人類の自主偉業に大きな貢献をした金日成主席に感謝を捧げています。